

新しい時代の学校施設検討部会における検討経緯等

【中間報告公表以降】

8月20日 「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」 中間報告公表



10月21日 新しい時代の学校施設検討部会（第7回）

○「本協力者会議における継続的な検討事項」について議論

- ・学校施設のスタンダード案
- ・学校施設整備の優先度の考え方の整理
- ・長寿命化改修等を通じ、教育環境向上と老朽化対策を一体的に整備する事例の収集・分析、及びそれを踏まえた適切な財政支援制度の在り方
- ・学校施設整備・活用推進のためのプラットフォームの仕組み
- ・先導的モデルのフォローアップとそれを通じた学校施設モデル案の検討
- ・学校施設整備指針の改訂案

○教育環境向上と老朽化対策の一体的整備に関するヒアリング

- ・「福山100NEN教育 6th year」（広島県福山市教育委員会）
- ・「今あるものを生かした学校の再構築」（高木 東畑建築事務所設計室長）

11月下旬 新しい時代の学校施設検討部会 学校施設視察

～12月上旬 ○長寿命化改修事例を中心に現地視察・意見交換

	所在地	学校名等	整備内容
1	北海道 黒松内町	黒松内町立 黒松内小学校	H24 長寿命化改修 (教育環境向上と老朽化対策の一体的整備)
2	福島県 矢吹町	矢吹町立 矢吹小学校	H26-28 長寿命化改修 (教育環境向上と老朽化対策の一体的整備)
3	愛知県 北名古屋市	北名古屋市立 西春中学校	H19-20 長寿命化改修+一部減築・増築 (教育環境向上と老朽化対策の一体的整備)
4	和歌山県 新宮市	新宮市立 王子ヶ浜小学校	H24 長寿命化改修+一部増築 (教育環境向上と老朽化対策の一体的整備)
5	福井県 福井市	福井市立 順化小学校	R2 長寿命化改修+複合化 (余裕教室を活用し公民館を整備)
6	滋賀県 近江八幡市	近江八幡市立 桐原小学校	H26-27 改築+複合化・共用化 (校舎とコミュニティセンターを一体的に整備)
7	大阪府 田尻町	田尻町 教育委員会	R3 小・中学校に隣接する庁舎(教育委員会事務局)に学習空間を整備

12月13日 **新しい時代の学校施設検討部会（第8回）**
○学校施設視察報告
○「本協力者会議における継続的な検討事項」について議論

1月18日 **学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議（第13回）**
○検討部会の検討状況報告
○「本協力者会議における継続的な検討事項」について議論

2月3日 **新しい時代の学校施設検討部会（第9回）**
○「本協力者会議における継続的な検討事項」について議論
○最終報告（素案）について議論

3月4日 **新しい時代の学校施設検討部会（第10回）**
○最終報告（案）について議論

3月中 **学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議（第14回）**
○検討部会の検討状況報告
○検討部会の最終報告（案）について議論



「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告を取りまとめ

（「新しい時代の学校施設検討部会（第7回）」（10月21日開催）配付資料）

本協力者会議における継続的な検討事項について

中間報告において、「本協力者会議における継続的な検討事項」とされた各検討事項について、最終報告の取りまとめに向け議論を進める。

【検討事項】

（１）学校施設スタンダードの提示

（中間報告）

国においては、第3章で示した学校施設の姿（ビジョン）を踏まえ、新しい時代の学びを実現するために、どのような学校施設整備を目指していくのか、それによりどのような変化を生み出そうとするのか、具体的な姿を「新しい時代の学びを実現する学校施設スタンダード」（仮称）として提示すること。この際、学校施設整備が画一的・固定的にならないよう、創意工夫の姿を示すこと。

○「新しい時代の学びを実現する学校施設のスタンダード」とは何か、その位置づけをどのように整理していくか。

○スタンダードとして、どのような姿を提示するか。

（視点の例）

- ・柔軟で創造的な学習空間の実現の視点（多様な学習活動への柔軟な対応、バリアフリー化、職員室など）
- ・健やかな学習・生活空間の実現の視点（生活空間、空調・トイレ等の衛生環境など）
- ・地域や社会との連携・協働（共創空間）の実現の視点
- ・安全・安心な教育環境の実現の視点（非構造部材も含めた耐震対策、老朽化対策、避難所としての防災機能など）
- ・持続可能な教育環境の実現の視点（省エネルギー化、ZEB化、木材利用など）

○新築建築物において求められるスタンダードの姿とはどのようなものか。

○今後、長寿命化改修を通じ、新しい学びを実現するための教育環境向上と老朽化対策を一体的に推進していく上で、求められるスタンダードの姿とはどのようなものか。

○地域や学校の実情、学校種の違いなどにも考慮し、画一的・固定的にならないような工夫として、どのような工夫が考えられるか。

（２）学校施設整備の優先度の考え方の整理

（中間報告）

国においては、新しい時代の学びを実現する学校施設整備が推進されるよう、緊急

性をもって短期的に対応すべきもの、中長期的なスパンで取り組むべきものを整理して示すこと。

この際、答申で示された「令和の日本型学校教育」が、2020年代を通じて実現する姿を提言していることや、政府における地球温暖化対策計画や「地域脱炭素ロードマップ」など、各種計画や方針等も踏まえること。

○地域や学校の実情、学校種の違いなどを踏まえ、学校施設整備の優先度をどのように整理していくか。

○今後、長寿命化改修を通じ、新しい学びを実現するための教育環境向上と老朽化対策を一体的に推進していく上で、優先的に考慮すべきものは何か。

(参考) 各種計画等で示されている方針・目標

- ・防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策（令和3年度から7年度）【別紙1】
- ・小中学校等施設のバリアフリー化の整備目標（令和3年度から7年度）を踏まえた取組の加速【別紙2】
- ・地域脱炭素ロードマップ、地球温暖化対策計画等における脱炭素社会に向けた建築物における省エネ対策等の強化【別紙3】

(3) 長寿命化改修等を通じ、教育環境向上と老朽化対策を一体的に整備する事例の収集・分析、及びそれを踏まえた適切な財政支援制度の在り方

教育環境向上と老朽化対策の一体的整備に関する事例把握、関係者へのヒアリング等を通じて、工夫や課題を把握するとともに、具体的な方策について検討する。

○教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の事例として、どのような事例を提示することが効果的か。

(例)

長寿命化改修を通じ、老朽化対策と合わせて、以下の整備を実現している事例

- ・多様な学習活動を展開できる空間を整備している事例（教室空間、特別教室、図書館等）
- ・木材を積極的に活用し、快適で温かみのある空間を整備している事例・学校と地域との連携・協働の拠点となる共創空間を整備している事例
- ・高断熱化や高効率照明の導入等の省エネルギー化、再生可能エネルギー等の整備を進めている事例
- ・既存施設の改修等に際して、首長部局等と協働し、適正規模化や複合化等を実現している事例

○教育環境向上と老朽化対策の一体的整備を進めるに際して、ネックになる課題は何か。財政支援制度の在り方を含め、それをどのように解決するか。

(4) 学校施設整備・活用推進のためのプラットフォームの構築

(中間報告)

新しい時代の学びを実現する学校施設整備について、既存施設の改修ノウハウがない、専門の職員が不足しているため専門的・技術的なアドバイスがほしい、好事例を横展開するためにも具体的なプロセスに関する情報がほしい、所管施設が多数あり整備に手が回らないなど、各学校設置者によって様々な課題がある。

新しい時代の学びに対応した学校施設整備を着実に推進するためには、こうした課題に的確に対応していく必要があります、国においては、以下の機能を有するプラットフォームを構築すること。

(機能の例)

- ・具体的な実践につながる整備・活用事例、ノウハウの蓄積・発信
- ・「学校建築アドバイザー」(仮称)など専門家による専門的・技術的な相談体制の構築
- ・好事例を着実に横展開するための現場同士のネットワーク化

○「新時代の学びに対応した学校施設整備推進プラットフォーム構築事業」を参考に、どのような仕組みを構築することが効果的か。

(5) 先導的モデル研究を通じた新たな学校施設モデルの提示

(中間報告)

現在、新しい時代の学びを実現する学校施設整備のモデルを構築するため、「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業」が実施されているところであり、国においては、これらの成果等を踏まえ、具体的・実践的な学校施設モデルを提示すること。

○先導的モデル研究の成果を整理していくとともに、学校施設スタンダードや学校施設整備の優先度の考え方、プラットフォームの構築等の検討に活用することができないか。

(6) 学校施設整備指針の改訂

(中間報告)

学校教育を進める上で必要な施設機能を確保するため、国においては、学校施設整備の基本的な考え方や計画・設計上の留意事項を示した「学校施設整備指針」を策定している。今後、各学校設置者において、新しい時代の学びを実現する学校施設整備が着実に進められるよう、国においては、本協力者会議の検討を踏まえ、学校施設整備指針を見直すこと。

○これまでの中間報告での議論等を踏まえ、学校施設整備指針に反映すべき視点は何か。